

# 平成28年度和歌山県文化功労賞

な て た か こ あけふね  
名手 隆子(号 朱舟)

住 所 和歌山県和歌山市  
出 身 地 和歌山県和歌山市  
生 年 昭和9年

## ◎ 業績及び経歴

昭和9年和歌山市に生まれる。和歌山県立桐蔭高等学校で故天石東村氏に指導を受ける。昭和35年、東村氏の紹介で故桑田笹舟氏に師事。教員のかたわら、かな書道の研鑽を深める。

昭和39年に日展に初入選、以来20回の入選を数える。高等学校で書道科教諭として教鞭をとる一方、昭和58年より13年間にわたり、和歌山大学教育学部の非常勤講師として「かな実習」の講義を担当するなど、書道教育にも力を注ぐ。

昭和59年からは故桑田三舟氏に師事し、その書風にさらに磨きをかける。三舟氏没後は田頭一舟氏に師事し、現在に至る。平成11年には、桐蔭高等学校創立120周年記念において、校歌歌碑を揮毫。平成12年には、教員退職記念として初の個展を開催し、記念作品集を出版する。

平成9年に書道グループ「朱睦会」を結成し、会長に就任。後進の指導にも並々ならぬ情熱を注ぎ、数々の新しい芽を生み出してきた。平成26年には「第3回朱睦会展」を開催し、会員約70名とともに多彩な作品を披露。書の心や美、墨の芸術を通して日本文化を紹介し、多くの来場者を魅了した。

氏はこれまで審査員としても長く活躍しており、和歌山県美術展覧会をはじめ、和歌山市美術展覧会、読売書法会、日本書芸院、神戸笹波会、青潮書道会などの審査員を務めてきている。

また、日本の古筆を中心に研究に取り組み、多くの執筆にも携わるなど、伝統文化としての書道の継承にとどまらず、現代における書の在り方も探求し、かな書道的美を次世代に伝え続けてきた。

書家として、また指導者・研究者として、長年にわたる活動を通して、書道文化の向上と振興に尽力してきた功績は誠に多大である。

## ■現 在

書家  
朱睦会会長  
日展会友  
読売書法会参与  
日本書芸院参与  
神戸笹波会相談役  
青潮書道会参事  
和歌山県書道協会名誉会員  
和歌山県書道教育連盟理事  
和歌山県美術家協会理事  
和歌山市美術展覧会審査員

## ◆主な表彰歴等

昭和61年 日本書芸院大賞  
平成10年 笹波会展笹舟賞  
平成13年 和歌山県知事表彰  
平成17年 和歌山市文化功労賞